



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 船井総合研究所

コード番号 9757 URL <http://www.funaisoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高嶋 栄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 大野 潔

スタッフ統括本部長

TEL 06-6232-0130

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	6,479	7.6	1,696	33.6	1,666	31.4	979	70.7
23年12月期第3四半期	6,023	△5.3	1,269	△8.0	1,267	△8.4	573	53.5

(注)包括利益 24年12月期第3四半期 986百万円 (90.6%) 23年12月期第3四半期 517百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	34.81	34.78
23年12月期第3四半期	20.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	16,825	14,066	83.5
23年12月期	16,549	13,770	83.1

(参考)自己資本 24年12月期第3四半期 14,056百万円 23年12月期 13,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	10.00	—	14.00	24.00
24年12月期	—	10.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	0.4	1,950	2.6	1,950	2.3	1,000	△16.5	35.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	31,251,477 株	23年12月期	31,251,477 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	3,118,025 株	23年12月期	3,117,908 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	28,133,536 株	23年12月期3Q	28,133,780 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景とした緩やかな景気の回復が見られたものの、欧州や中国をはじめとする世界経済の減速を受け依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、主力の経営コンサルティング事業の業績が寄与し、連結経営成績は前年同四半期と比較し増収増益を達成することができました。

①売上高・・・6,479百万円（前年同四半期比7.6%増）

経営コンサルティング事業におきまして、当社の強みである支援型コンサルティング業務において安定した成長が続いており、業種・テーマごとに開催している経営研究会やセミナーにおいても開催件数が順調に増加し、また、コミュニケーションセンター設立による顧客との関係構築強化が受注機会の増加につながるなど売上高は好調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期に比べて7.6%増の6,479百万円となりました。

②営業利益・・・1,696百万円（前年同四半期比33.6%増）

上記の売上増加の要因のほかに、前年から引続き営業活動の効率化及び固定費の削減に取り組んだことにより、営業利益率が26.2%（前年同四半期は21.1%）となり大幅に改善されました。その結果、営業利益は前年同四半期に比べて33.6%増の1,696百万円となりました。

③経常利益・・・1,666百万円（前年同四半期比31.4%増）

営業外収益が42百万円、営業外費用が71百万円となり、経常利益は前年同四半期に比べて31.4%増の1,666百万円となりました。

④四半期純利益・・・979百万円（前年同四半期比70.7%増）

特別利益が5百万円、特別損失が0百万円、法人税等合計が692百万円、少数株主損失が0百万円となり、四半期純利益は前年同四半期に比べて70.7%増の979百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①経営コンサルティング事業

経営コンサルティング事業におきましては、前年同期を大きく上回る実績を確保いたしました。

主力の住宅・不動産業界、レジャー・アミューズメント業界向けコンサルティングにおきましては順調に業績を伸ばし、特に住宅・不動産業界におきましては、引続き最盛期を上回る勢いで推移しております。その他、流通・小売業界、外食・フード業界をはじめとし多くのコンサルティング分野においても、前年同期と比較し20%以上業績を伸ばしており、好調を維持しております。

また、経営相談窓口として設立したコミュニケーションセンターも順調に機能を充実させており、新規顧客の獲得に大きく寄与しております。

なお、第1四半期連結会計期間に新たに設立した中国子会社におきましては、日中関係の悪化に伴う大きな影響は現在発生しておりません。

その結果、売上高は6,332百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は1,685百万円（同28.9%増）となり増収増益を達成いたしました。

②ベンチャーキャピタル事業

ベンチャーキャピタル事業におきましては、新規上場市場の停滞及び先行き不透明な経済状況により依然として厳しい環境が続いており、現在は新規投資を控えている状況であります。

その結果、売上高を確保することができず、営業損失は18百万円（前年同四半期は営業損失38百万円）となりました。

③その他

その他の事業におきましては、IT関連業務においてITアウトソーシングは当初の計画に遅れがみられましたが、IT関連業務においてマネジメントコンサルティング、ITコンサルティングについては順調に推移いたしました。

その結果、売上高は147百万円（前年同四半期比17.9%増）、営業利益は25百万円（同129.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて276百万円増加し、16,825百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて114百万円減少し、6,759百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加し、流動資産のその他に含まれる短期貸付金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて390百万円増加し、10,065百万円となりました。これは主に、投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて19百万円減少し、2,759百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、1,819百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金、賞与引当金が増加し、未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて79百万円減少し、939百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて295百万円増加し、14,066百万円となりました。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.4ポイント増加し、83.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内経済の先行きについては、復興需要等を背景に景気回復が期待されるものの、欧州政府債務危機を巡る不確実性が高まっており、その先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、引続き顧客基盤の充実を図るとともに、時代の流れに適応したビジネスの創出に努めてまいりたいと考えております。

経営コンサルティング事業におきましては、主力の住宅・不動産業界、レジャー・アミューズメント業界向けコンサルティングを中心に、好調な各業種別コンサルティングにさらに注力し、業績の維持、拡大に努めてまいります。

また、景気の先行きが依然として不透明ななか、最新の市場動向の提供や新しいビジネスモデルを提言することが当社の使命であると考えております。各業種別に専門特化した経営研究会の更なる拡充を進めるとともに、積極的にセミナー開催を展開していくことで、広く各企業の経営の活性化に引続き寄与してまいります。

さらに当社では、現在のソーシャルメディアに対応した新たな会員サービスづくりとして、8月にWEBサイトの全面リニューアルを行いました。今後、セミナーコンテンツを最大限に活用したデジタルコンテンツ事業の展開を予定しており、セミナー関連商品の販売強化やこれを機会としたコンサルティング受注の増加を目指してまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高8,600百万円、営業利益1,950百万円、経常利益1,950百万円、当期純利益1,000百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（追加情報）

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,257,503	3,996,241
受取手形及び売掛金	1,013,750	898,837
有価証券	1,207,151	1,398,285
営業投資有価証券	67,157	41,421
仕掛品	67,852	169,423
原材料及び貯蔵品	6,211	5,710
その他	1,327,446	307,190
貸倒引当金	△73,024	△57,179
流動資産合計	6,874,048	6,759,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,647,143	1,589,872
土地	4,878,640	4,878,640
リース資産(純額)	48,984	41,591
その他(純額)	45,490	45,213
有形固定資産合計	6,620,258	6,555,316
無形固定資産		
借地権	322,400	322,400
ソフトウェア	141,316	117,749
その他	8,938	18,679
無形固定資産合計	472,655	458,829
投資その他の資産		
投資有価証券	1,081,714	1,461,440
その他	1,755,824	1,739,446
貸倒引当金	△254,774	△149,077
投資その他の資産合計	2,582,764	3,051,809
固定資産合計	9,675,679	10,065,955
資産合計	16,549,727	16,825,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,855	5,593
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
リース債務	17,582	18,630
未払法人税等	588,594	359,766
賞与引当金	132	229,936
その他	1,044,356	1,005,516
流動負債合計	1,759,521	1,819,443
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	100,000	—
リース債務	35,141	26,566
退職給付引当金	2,932	3,436
その他	381,422	409,902
固定負債合計	1,019,495	939,905
負債合計	2,779,016	2,759,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,231	3,125,231
資本剰余金	2,946,634	2,946,634
利益剰余金	9,405,422	9,709,466
自己株式	△1,709,907	△1,709,969
株主資本合計	13,767,381	14,071,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,073	△14,409
為替換算調整勘定	—	△171
その他の包括利益累計額合計	△22,073	△14,580
新株予約権	—	9,753
少数株主持分	25,402	—
純資産合計	13,770,710	14,066,536
負債純資産合計	16,549,727	16,825,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	6,023,226	6,479,365
営業原価	3,890,655	4,009,183
営業総利益	2,132,570	2,470,181
販売費及び一般管理費	863,107	773,939
営業利益	1,269,462	1,696,242
営業外収益		
受取利息	6,597	6,935
受取配当金	6,990	13,674
その他	15,648	21,411
営業外収益合計	29,236	42,021
営業外費用		
支払利息	9,734	7,868
貸倒引当金繰入額	0	55,000
投資事業組合管理費	4,657	4,244
寄付金	10,000	—
和解金	2,500	—
為替差損	423	972
その他	3,649	3,890
営業外費用合計	30,966	71,976
経常利益	1,267,733	1,666,286
特別利益		
固定資産売却益	11,546	—
投資有価証券売却益	—	960
貸倒引当金戻入額	13,463	—
未払費用戻入額	—	4,164
特別利益合計	25,009	5,125
特別損失		
固定資産売却損	—	180
固定資産除却損	442	68
投資有価証券評価損	2,799	—
事業撤退損	313,722	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,047	—
特別損失合計	338,013	248
税金等調整前四半期純利益	954,729	1,671,162
法人税、住民税及び事業税	438,309	633,004
法人税等調整額	△51,247	59,365
法人税等合計	387,061	692,370
少数株主損益調整前四半期純利益	567,668	978,792
少数株主損失(△)	△5,954	△456
四半期純利益	573,622	979,248

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	567,668	978,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,083	7,663
為替換算調整勘定	—	△171
その他の包括利益合計	△50,083	7,492
四半期包括利益	517,584	986,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523,538	986,741
少数株主に係る四半期包括利益	△5,954	△456

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	経営コンサルティング事業	書籍出版事業 (注) 1	ベンチャーキャピタル事業	その他 (注) 2	計	調整額 (注) 3	四半期連結損益計算書計上額 (注) 4
売上高							
外部顧客への売上高	5,752,872	118,817	26,807	124,729	6,023,226	—	6,023,226
セグメント間の内部売上高又は振替高	240	—	—	7,075	7,315	△7,315	—
計	5,753,112	118,817	26,807	131,805	6,030,542	△7,315	6,023,226
セグメント利益又は損失(△)	1,307,662	△16,559	△38,605	11,070	1,263,567	5,895	1,269,462

(注) 1 書籍出版事業を営む株式会社ビジネス社の全株式を平成23年6月30日に売却したため、連結の範囲から除外いたしました。

2 その他には、不動産賃貸収入、IT関連業務による収入等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	経営コンサルティング事業	ベンチャーキャピタル事業	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	6,332,340	—	147,025	6,479,365	—	6,479,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	160	—	3,937	4,097	△4,097	—
計	6,332,500	—	150,963	6,483,463	△4,097	6,479,365
セグメント利益又は損失(△)	1,685,019	△18,763	25,412	1,691,668	4,573	1,696,242

(注) 1 その他には、不動産賃貸収入、IT関連業務による収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「書籍出版事業」を廃止しております。

これは、書籍出版事業を営む株式会社ビジネス社の全株式を平成23年6月30日に売却し、当事業から撤退したことによるものであります。

これにより、第1四半期連結累計期間より「経営コンサルティング事業」、「ベンチャーキャピタル事業」の2つを報告セグメントとしております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
経営コンサルティング事業	6,141,710	+15.0	3,905,532	+15.1
その他	103,671	+45.3	30,675	+11.3

(注) 1 経営コンサルティング事業については、会費収入、セミナー収入は継続収入であるため、コンサルタント収入についてのみ記載いたしました。

2 その他については、システムコンサルタント収入についてのみ記載いたしました。

3 金額は販売価格で表示しております。

4 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
経営コンサルティング事業	6,332,340	+10.1
ベンチャーキャピタル事業	—	△100.0
その他	147,025	+17.9
合計	6,479,365	+7.6

(注) 1 販売実績は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3 総販売実績に対して10%以上に該当する相手先はありません。